

令和3年度 湯沢市 市民満足度調査
報告書（分析）

令和3年8月
湯沢市

市民満足度調査報告書（分析）

1. 施策別の総合評価	1
1-1 施策別の満足度順位	1
1-2 施策別の重要度順位	2
1-3 満足度・不満足度の推移	3
1-4 満足度・重要度の加重平均	4
1-5 満足度・重要度の加重平均によるCS分析 （参考）調査票と報告書の項目名称の対応	5 8
2. 年代、地域別による評価	9
2-1 ライフステージ別	9
ライフステージ①	10
ライフステージ②	11
ライフステージ⑤	12
ライフステージ⑥	13
2-2 性別・年代・地域別の満足度順位	14
2-3 性別・年代・地域別の重要度順位	15
3. 設問間の相関関係	16
3-1 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係	17
3-2 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係	18
3-3 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係	19
3-4 施策5「生活困窮者と障がい者の自立支援」との相関関係	20
3-5 施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係	21
3-6 施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係	22
3-7 施策28「公共交通の整備と利用促進」との相関関係	23
3-8 施策29「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係	24
3-9 施策30「道路等除排雪体制の充実」との相関関係	25
4. 自由意見	26

1. 施策別の総合評価

(1-1) 施策別の満足度順位

➤ 「満足」「やや満足」の合計は、「安心な生活環境の構築」が最も高く、次いで「保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成」「心身の健康を保つ活動の充実」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	満足度						満足度	前回値	差分
					満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答			
1	↑	4	26	安心な生活環境の構築	42.5	37.6	4.9						
2	→	2	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	40.4	40.2	0.2						
3	↑	5	8	心身の健康を保つ活動の充実	40.0	36.9	3.1						
4	↑	6	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	39.9	36.3	3.6						
5	↑	10	9	充実した長寿生活の実現	38.9	34.3	4.6						
6	↓	3	31	社会インフラの充実	37.6	37.9	-0.3						
7	↑	11	24	防災危機対策の推進	35.3	34.0	1.3						
8	→	8	4	情報発信力の強化	35.1	34.8	0.3						
9	↓	1	30	道路等除排雪体制の充実	34.9	42.8	-7.9						
10	↑	14	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	33.6	31.2	2.4						
11	↑	15	20	学校教育の充実	33.5	29.9	3.6						
12	↓	7	29	まちの動脈となる道路等の整備	33.3	35.0	-1.7						
13	↓	9	22	スポーツ活動の推進	32.1	34.5	-2.4						
14	↓	13	23	文化の保護・継承・活用	31.6	32.8	-1.2						
15	↓	12	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	31.1	33.5	-2.4						
16	↑	17	25	優れた自然環境の保全	29.2	27.6	1.6						
17	↓	16	21	生涯学習の推進	28.7	29.2	-0.5						
17	↑	19	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	28.7	24.2	4.5						
19	↓	18	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	27.2	26.0	1.2						
20	↑	21	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	26.9	23.4	3.5						
21	↓	20	28	公共交通の整備と利用促進	25.5	23.5	2.0						
21	→	21	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	25.5	23.4	2.1						
21	↑	26	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	25.5	21.1	4.4						
24	↓	23	1	市民が主役のまちづくりの推進	23.7	21.7	2.0						
25	↓	24	15	観光客の受入環境の整備と観光推進団体の体制強化	22.4	21.6	0.8						
25	↓	24	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	22.4	21.6	0.8						
27	→	27	11	産業を支える土台作り	20.4	20.8	-0.4						
28	→	28	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	18.6	19.8	-1.2						
29	↑	30	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	18.3	17.0	1.3						
30	→	30	18	農山村交流及び国際交流の活性化	15.3	17.0	-1.7						
31	↓	29	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	13.0	17.3	-4.3						

0% 25% 50% 75% 100%

(1-2) 施策別の重要度順位

➤ 「重要」「やや重要」の合計は、「道路等除雪排雪体制の充実」が最も高く、次いで「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」「安心な生活環境の構築」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	重要度	前回値	差分
1	→	1	30	道路等除雪排雪体制の充実	91.8	87.7	4.1
2	→	2	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	82.5	79.7	2.8
3	→	3	26	安心な生活環境の構築	79.1	74.8	4.3
4	↓	3	29	まちの動脈となる道路等の整備	77.8	74.8	3.0
5	↑	9	28	公共交通の整備と利用促進	77.3	70.9	6.4
6	↑	12	20	学校教育の充実	76.8	70.1	6.7
7	→	7	24	防災危機対策の推進	76.5	73.4	3.1
8	↓	5	31	社会インフラの充実	75.5	74.7	0.8
9	↓	6	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	74.8	74.3	0.5
10	↑	13	9	充実した長寿生活の実現	74.3	69.6	4.7
11	↓	9	8	心身の健康を保つ活動の充実	72.7	70.9	1.8
12	↓	11	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	70.8	70.8	0.0
13	↓	8	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	70.5	72.7	-2.2
14	↑	18	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	68.2	63.6	4.6
15	↓	14	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	67.1	65.8	1.3
16	→	16	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	66.6	64.9	1.7
17	→	17	15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	65.7	63.7	2.0
18	↑	20	4	情報発信力の強化	65.2	63.2	2.0
19	↓	15	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	64.9	65.5	-0.6
20	↓	18	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	64.3	63.6	0.7
20	↑	21	25	優れた自然環境の保全	64.3	60.9	3.4
22	↑	23	11	産業を支える土台作り	62.4	59.5	2.9
23	↑	25	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	61.3	58.3	3.0
24	↓	22	21	生涯学習の推進	59.0	60.1	-1.1
25	↓	23	22	スポーツ活動の推進	57.0	59.5	-2.5
26	→	26	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	56.7	57.2	-0.5
27	↑	29	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	55.0	49.5	5.5
28	↓	27	23	文化の保護・継承・活用	54.4	54.7	-0.3
29	↓	28	1	市民が主役のまちづくりの推進	53.6	50.2	3.4
30	↑	31	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	44.8	40.8	4.0
31	↓	30	18	農山村交流及び国際交流の活性化	38.6	44.3	-5.7

0% 25% 50% 75% 100%

(1-3) 満足度・不満足度の推移

① 満足度が上昇・不満足度が解消した施策

- ▶ 前年より満足度が上昇した施策は「安心な生活環境の構築」で4.9ポイント、「充実した長寿社会の実現」で4.6ポイント、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」で4.5ポイントの増加となっている。
- ▶ 不満足度が解消された施策は「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」で4.6ポイント、「スポーツ活動の推進」で3.3ポイント、「産業を支える土台作り」で3.1ポイント減少している。

満足度が上昇した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和3年			令和2年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
26	安心な生活環境の構築	13.0	29.5	42.5	13.4	24.2	37.6	4.9
9	充実した長寿生活の実現	11.9	27.0	38.9	8.2	26.1	34.3	4.6
3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	5.3	23.4	28.7	4.7	19.4	24.2	4.5

不満足度が解消した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和3年			令和2年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	11.9	8.7	20.6	16.7	8.5	25.2	▲ 4.6
22	スポーツ活動の推進	7.7	4.1	11.9	9.2	6.0	15.2	▲ 3.3
11	産業を支える土台作り	10.1	6.3	16.3	13.2	6.2	19.4	▲ 3.1

② 満足度が低下・不満足度が悪化した施策

- ▶ 前年より満足度が低下した施策は「道路等除排雪体制の充実」で7.9ポイント、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」で4.3ポイント、「スポーツ活動の推進」で2.4ポイントとなっている。
- ▶ 不満足度が悪化した施策は「道路等除排雪体制の充実」で13.3ポイント、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」で2.7ポイント、「充実した長寿生活の実現」で3.1ポイント減少している。

満足度が低下した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和3年			令和2年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
30	道路等除排雪体制の充実	10.9	24.1	34.9	13.6	29.2	42.8	▲ 7.9
17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	2.8	10.2	13.0	4.2	13.1	17.3	▲ 4.3
22	スポーツ活動の推進	8.7	23.4	32.1	10	24.5	34.5	▲ 2.4

不満足度が悪化した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和3年			令和2年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
30	道路等除排雪体制の充実	24.9	21.1	46.0	20.4	12.3	32.7	13.3
17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	17.0	11.2	28.2	17.3	8.2	25.5	2.7
9	充実した長寿生活の実現	9.6	4.9	14.5	8.8	3.3	12.1	2.4

(1-4) 満足度・重要度の加重平均

各施策（31 項目）の満足度と重要度について、加重平均による数値化を行います。満足・重要に 2、やや満足・やや重要に 1、どちらともいえないに 0、やや不満・あまり重要でないに -1、不満・重要でないに -2 を乗じて、回答者数で除して数値化しています。数値が大きいほど満足度と重要度が高いといえます。

<算出例> ※安心な生活環境の構築

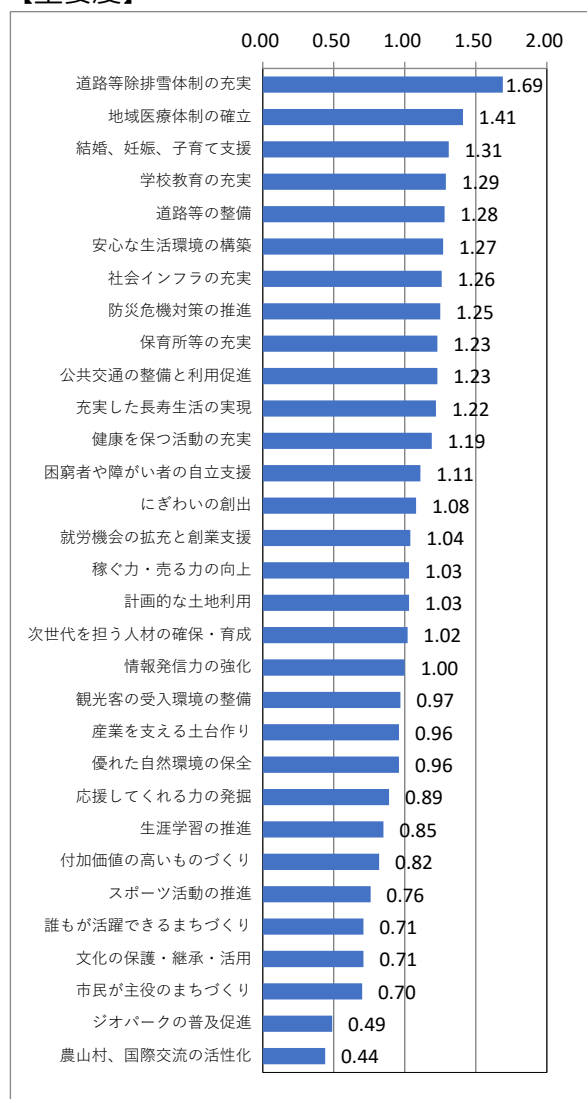
満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	総回答
回答者数	79	179	264	50	26	9	607
加重値	2	1	0	-1	-2	-	-

計算式： $(79 \times 2 + 179 \times 1 + 264 \times 0 + 50 \times (-1) + 26 \times (-2)) \div 607 \approx 0.39$

【満足度】



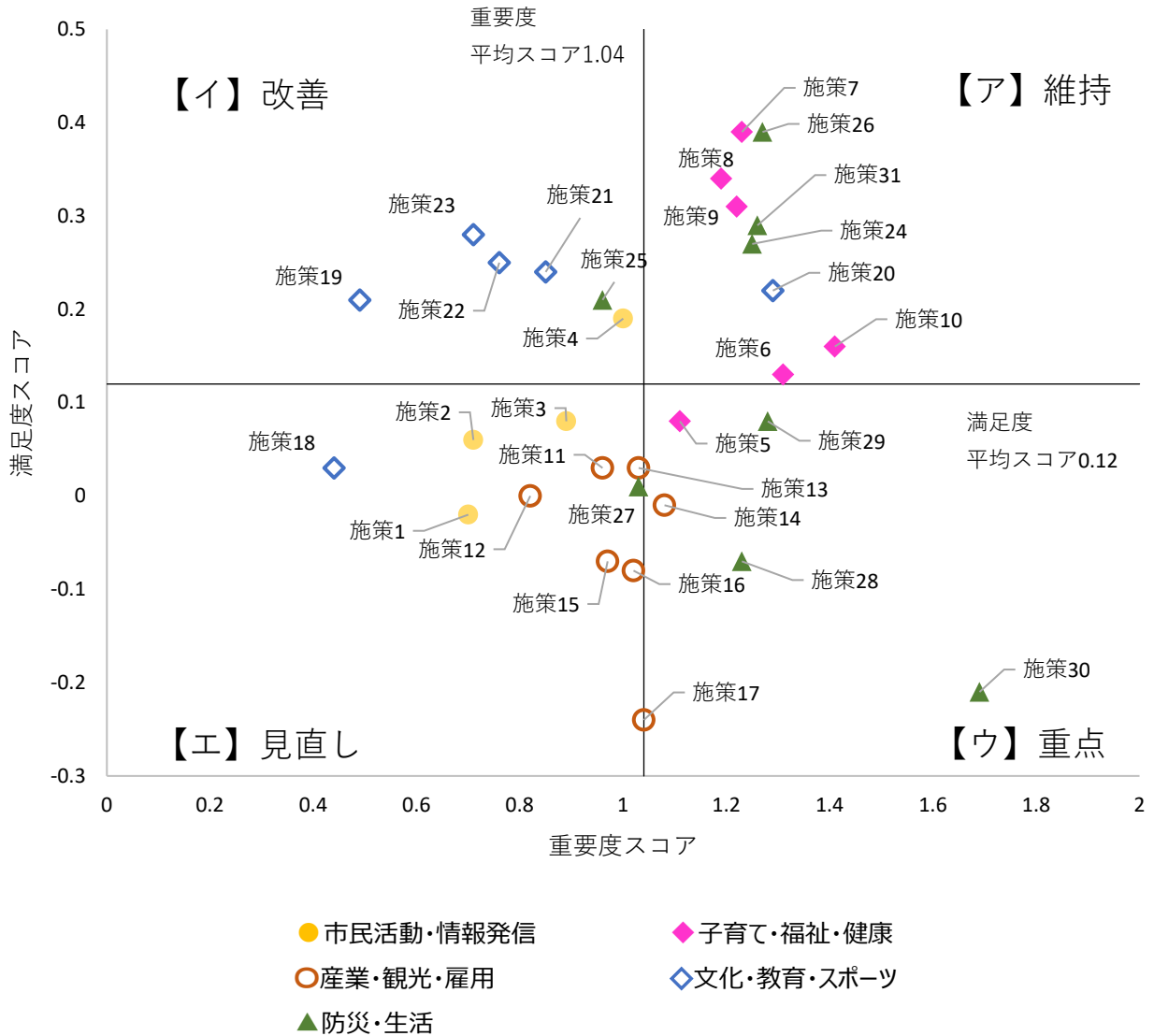
【重要度】



(1-5) 満足度・重要度の加重平均によるCS分析

各施策について算出した加重平均値を用い、満足度のスコアを縦軸に、重要度のスコアを横軸として散布図グラフを作成しCS（顧客満足度）分析を行います。

各平均スコアを境に【ア】【イ】【ウ】【エ】のエリアにプロットされた施策の位置から今後の方向性を検討します。



満足度と重要度による今後の方向性

	●	◆	○	◇	▲	合計
【ア】満足度高・重要度高（維持）		5		1	3	9
【イ】満足度高・重要度低（改善）	1			4	1	6
【ウ】満足度低・重要度高（重点）		1	2		3	6
【エ】満足度低・重要度低（見直し）	3		5	1	1	10
合計	4	6	7	6	8	31

【ア】満足度高・重要度高（維持）

⇒ この水準を維持しながら、より効率的な事務執行が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	0.13	1.31
◆	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	0.39	1.23
◆	8	心身の健康を保つ活動の充実	0.34	1.19
◆	9	充実した長寿生活の実現	0.31	1.22
◆	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	0.16	1.41
◇	20	学校教育の充実	0.22	1.29
▲	24	防災危機対策の推進	0.27	1.25
▲	26	安心な生活環境の構築	0.39	1.27
▲	31	社会インフラの充実	0.29	1.26

【イ】満足度高・重要度低（改善）

⇒ 費用対効果の見直しなど、事務事業の改善が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	4	情報発信力の強化	0.19	1.00
◇	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	0.21	0.49
◇	21	生涯学習の推進	0.24	0.85
◇	22	スポーツ活動の推進	0.25	0.76
◇	23	文化の保護・継承・活用	0.28	0.71
▲	25	優れた自然環境の保全	0.21	0.96

【ウ】満足度低・重要度高（重点）

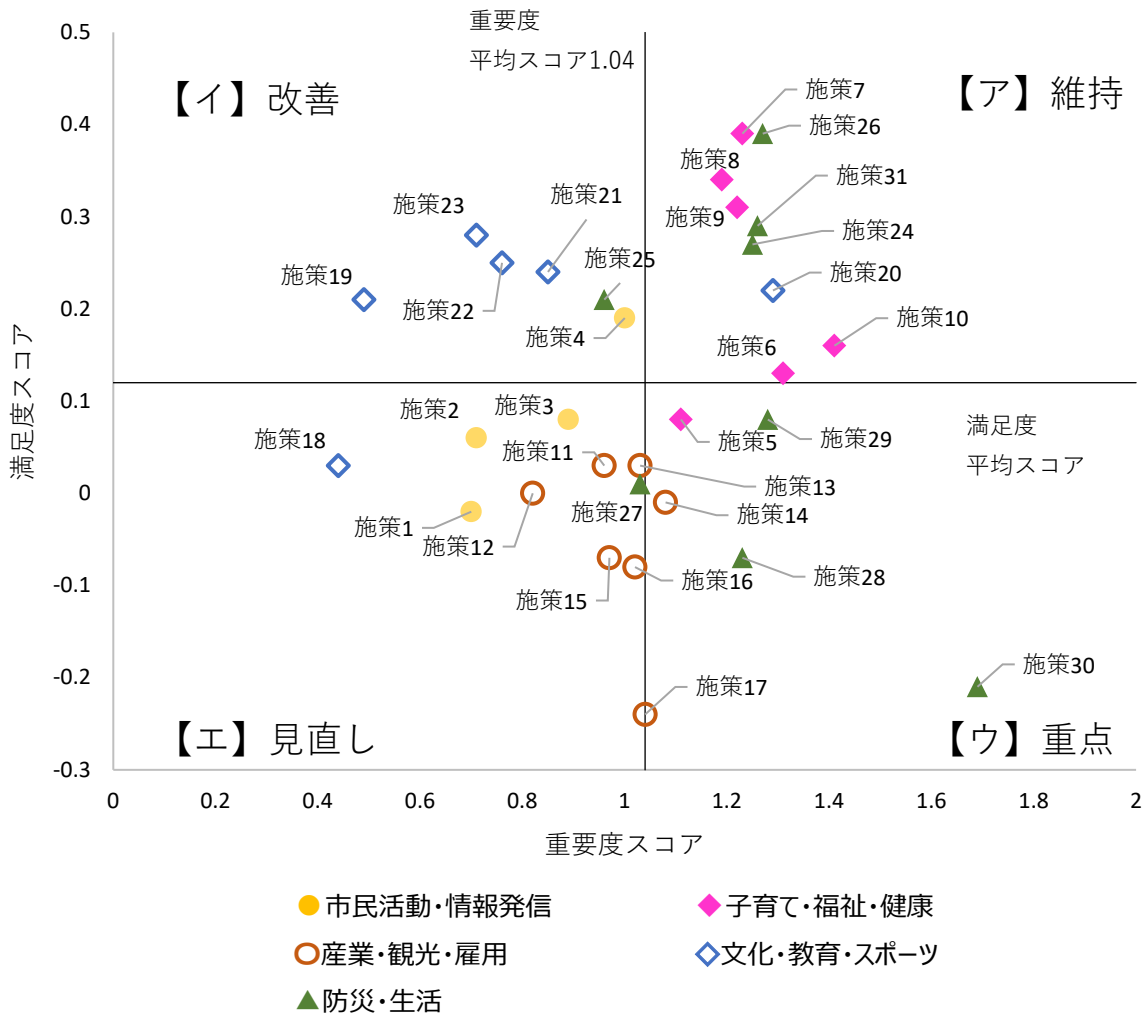
⇒ 満足度を高めるため、重点的な取組が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	0.08	1.11
○	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	-0.01	1.08
○	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	-0.24	1.04
▲	28	公共交通の整備と利用促進	-0.07	1.23
▲	29	まちの動脈となる道路等の整備	0.08	1.28
▲	30	道路等除排雪体制の充実	-0.21	1.69

【エ】満足度低・重要度低（見直し）

⇒ 予算や内容等、事務事業の抜本的な見直しが必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度スコア	重要度スコア
●	1	市民が主役のまちづくりの推進	-0.02	0.70
●	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	0.06	0.71
●	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	0.08	0.89
○	11	産業を支える土台作り	0.03	0.96
○	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	0.00	0.82
○	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	0.03	1.03
○	15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	-0.07	0.97
○	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	-0.08	1.02
◇	18	農山村交流及び国際交流の活性化	0.03	0.44
▲	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	0.01	1.03



(参考) 調査票と報告書の項目名称の対応

	分野	施策 No.	施策名	設問項目
1章	● 市民活動・情報発信	1	市民が主役のまちづくりの推進	地域の方々为主体的に取り組むまちづくり活動への支援やまちづくりの中心となる人材の育成など、「市民が主役のまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	若者等が企画するイベントの支援や、女性の社会参画機会の確保など、「年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	ふるさと納税の推進や、ふるさと応援大使の委嘱、移住の働きかけや定住支援を行うなど、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」に取り組んでいます。
		4	情報発信力の強化	広報紙をはじめ、様々な手段を活用して、市の情報や魅力を発信しているほか、市民ボランティアによるSNS配信チームを結成し、市内の新たな魅力や埋もれた魅力をPRするなど、「情報発信力の強化」に取り組んでいます。
2章	◆ 子育て・福祉・健康	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	生活困窮者に対する自立・就労支援や、障がい者の社会参加・就業機会の確保など、「生活困窮者と障がい者の自立支援」に取り組んでいます。
		6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	結婚を希望する方への出会いのきっかけづくりのほか、子育て相談の充実や会員制の子どもの一時預かりなど、「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」に取り組んでいます。
		7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	保育所・認定子ども園の延長保育等の費用補助や、放課後児童クラブの運営など、「保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成」に取り組んでいます。
		8	心身の健康を保つ活動の充実	健診の実施や人間ドック等の費用助成のほか、自費予防対策の促進など、「心身の健康を保つ活動の充実」に取り組んでいます。
		9	充実した長寿生活の実現	高齢者の社会参加と生きがい・健康づくりの推進のほか、福祉除雪・配食サービス等の在宅生活の支援など、「充実した長寿生活の実現」に取り組んでいます。
		10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	皆瀬診療所の運営や雄勝中央病院の医師確保対策のほか、高額療養費制度等の医療保険制度の健全な運営など、「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」に取り組んでいます。
3章	○ 産業・観光・雇用	11	産業を支える土台作り	農地の整備事業や再造林の支援を行うほか、地場産業の原材料確保、後継者育成など、「産業を支える土台づくり」に取り組んでいます。
		12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	農作物等のブランド化や地域産材（木材）の活用促進企業の販路拡大支援など、「付加価値と競争力の高いものづくりの推進」に取り組んでいます。
		13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売力」の向上	高品質で収益性の高い農作物の安定供給体制を支援するほか、中小企業の支援や地域特産物の販路拡大など、『経営戦略の強化による「稼ぐ力・売力」の向上』に取り組んでいます。
		14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	県外での観光キャンペーンや七夕まつり・犬っこまつり等イベント開催への支援のほか、商店街活性化に関する補助金の交付など、「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」に取り組んでいます。
		15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	観光施設の維持管理のほか、観光物産団体の組織体制を確立するための支援など、「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化」に取り組んでいます。
		16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	農林業の担い手や地場産業の後継者を確保・育成するため、技術取得等の支援のほか、首都圏から湯沢市に移り住む方を地域おこし協力隊として委嘱するなど、「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」に取り組んでいます。
		17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	企業誘致の促進や雇用のミスマッチ解消を図るとともに、市内における起業・創業の支援など、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」に取り組んでいます。
4章	◇ 文化・教育・スポーツ	18	農山村交流及び国際交流の活性化	様々な地域や団体との交流を通じて地域の魅力を感じてもらおうとともに、地域への愛着心を育むため、都市農村交流や友好都市等との国際交流を行うなど、「農山村交流及び国際交流の活性化」に取り組んでいます。
		19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	ジオパークの普及・啓発活動やジオパークを対象とした学術調査・研究活動を支援するなど、「ジオパークの普及促進と調査・研究の支援」に取り組んでいます。
		20	学校教育の充実	学習環境の整備や基礎的学習の充実のほか、ふるさと教育・キャリア教育等を推進するなど、「学校教育の充実」に取り組んでいます。
		21	生涯学習の推進	生涯にわたる学習機会を提供するため、出前講座やトレッキング・陶芸教室を行うなど、「生涯学習の推進」に取り組んでいます。
		22	スポーツ活動の推進	学校体育施設の無料開放やスポーツ大会等の開催のほか、スポーツ関係団体を支援するなど、「スポーツ活動の推進」に取り組んでいます。
		23	文化の保護・継承・活用	市民が音楽に親しむ機会を増やすため、月イチコンサートを開催しているほか、文化財の保護・活用を推進するなど、「文化の保護・継承・活用」に取り組んでいます。
5章	▲ 防災・生活	24	防災危機対策の推進	消防施設等の整備と消防団の体制強化を図るほか、災害に備える対策を行うなど、「防災危機対策の推進」に取り組んでいます。
		25	優れた自然環境の保全	マツ枯れ・ナラ枯れの被害拡大を防ぐ対策や河川への稚魚放流活動支援など、「優れた自然環境の保全」に取り組んでいます。
		26	安心な生活環境の構築	地熱をはじめとした再生可能エネルギーの活用推進のほか、住環境を快適にするため、ごみ処理や交通安全・防犯対策など、「安心な生活環境の構築」に取り組んでいます。
		27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	都市計画道路の見直しや市営住宅の管理など、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」に取り組んでいます。
		28	公共交通の整備と利用促進	高齢者等の移動手段を確保するため、路線バスの運行補助や乗合タクシーの運行など、「公共交通の整備と利用促進」に取り組んでいます。
		29	まちの動脈となる道路等の整備	安全・安心で快適な通行を確保するため、道路や橋の整備など、「まちの動脈となる道路等の整備」に取り組んでいます。
		30	道路等除排雪体制の充実	冬期間の交通や生活の安全を確保するため、除排雪の実施など、「道路等除排雪体制の充実」に取り組んでいます。
		31	社会インフラの充実	安全な水の供給と下水道等整備による公衆衛生の向上、情報基盤の整備など、「社会インフラの充実」に取り組んでいます。

2. 年代、地域別による評価

(2-1) ライフステージ別

■ ライフステージ分類の考え方

市政に対する市民の関心や現状の生活に対する満足度・重要度の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年代、家族形態、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なります。ライフステージによって異なる市民の満足度・重要度の傾向を明らかにすることにより、各ライフステージの市民を対象とした施策を考える際の参考情報とします。本分析では、「年代」、「家族構成」、「子どもの有無」の三つの属性に関する回答で、市民を次ページの七つのライフステージに分類しました。このうち、「①10～50 歳代・15才未満の子どもがいない世帯」、「②10～50 歳代・15歳未満の子どもがいる世帯」、「⑤60 歳以上・夫婦のみ世帯」、「⑥60 歳以上・大規模世帯」の4つの分類において、該当する市民とそれ以外の市民の満足度・重要度の回答傾向の違いを、統計的検定（t 検定）を用いて明らかにしました。なお、「③10～40 歳代・その他」、「④60 歳以上・単身世帯」、及び「⑦60 歳以上・その他」については、対象サンプルが少なく特徴が捉えにくいとため、統計的検定を行わず、以降のページに結果を記載していません。

ライフステージごとの各施策に対する満足度及び重要度は次ページ以降に示した通りであり、印をつけた箇所は、他のライフステージに比べて、統計的に有意（※注）に高い又は低い水準となっています。なお、文中の「高い」「低い」という文言は、他のライフステージと比較した際に、相対的に「高い」又は「低い」ことを表しています。

（※注）60 歳以上は、独居老人や夫婦のみ世帯など、小規模世帯の傾向を把握するため、ライフステージ④及び⑤を設置。

		家族構成				
		単身世帯	夫婦のみ世帯	2～3 世代	その他	
年代	10歳代	ライフステージ① (子ども無し)		ライフステージ② (子ども有り)		ライフ ステージ ③
	20歳代					
	30歳代					
	40歳代					
	50歳代					
	60歳代	ライフステージ④	ライフステージ⑤	ライフステージ⑥	ライフステージ⑦	
	70歳以上					

■ 標本規模

ライフステージ	分類			回答数	割合 (%)
	【問2】年齢	【問5】家族構成	【問6】子どもの有無		
①10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯	10～50 歳代	単身世帯、夫婦のみ世帯、多世代世帯	—	192	32.0
②10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯	10～50 歳代	多世代世帯、その他	15歳未満の子どもがいる	156	26.0
③10～50 歳代 その他	10～50 歳代	上記①～②以外		28	4.7
④60 歳以上 単身世帯	60歳代、70 歳以上	単身世帯	—	27	4.5
⑤60 歳以上 夫婦のみ世帯	60歳代、70 歳以上	夫婦のみ世帯	—	81	13.5
⑥60 歳以上 大規模世帯	60歳代、70 歳以上	多世代世帯	(全て対象)	89	14.8
⑦60 歳以上 その他	60歳代、70 歳以上	上記④～⑥以外		27	4.5

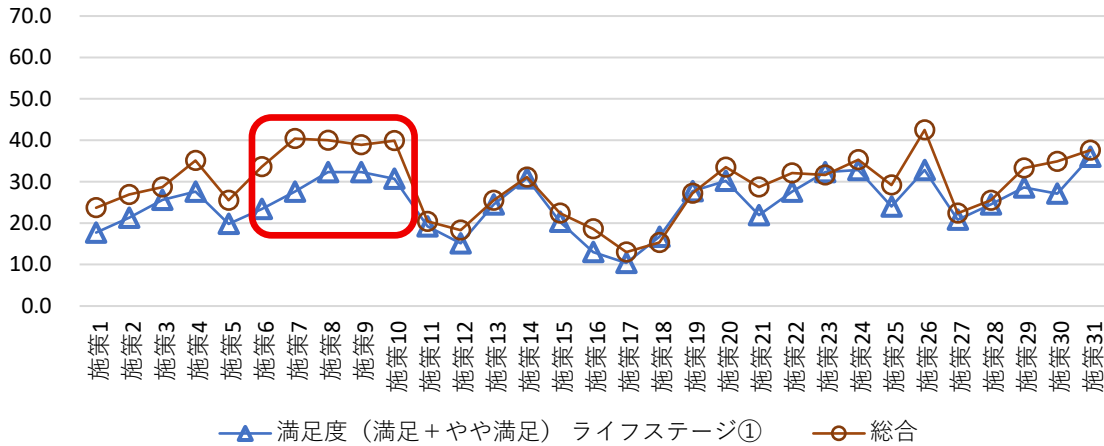
注) 年齢、家族構成について、無回答のものを除いて集計

n = 600

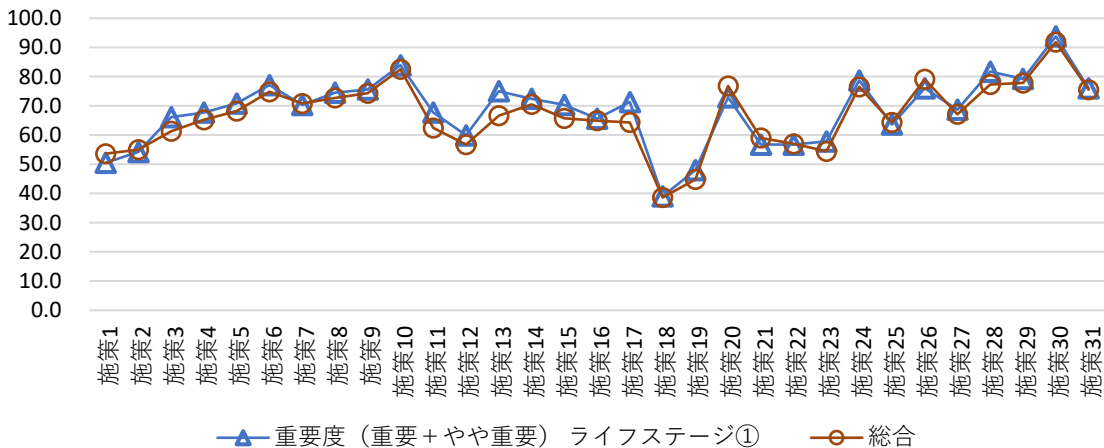
ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯

－ 子育て・福祉・健康に関する満足度の低さが顕著 －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
		7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成
		8	心身の健康を保つ活動の充実
		9	充実した長寿生活の実現
		10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減

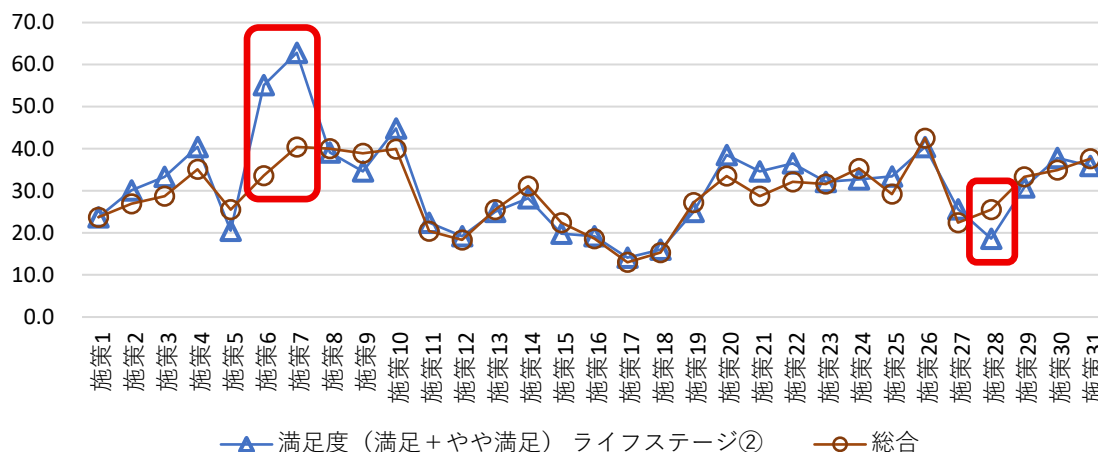
➤ 満足度については、他のライフステージと比較して全体的に低いが、特に施策NO.6～10の「子育て・福祉・健康関係」が低い。

➤ 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

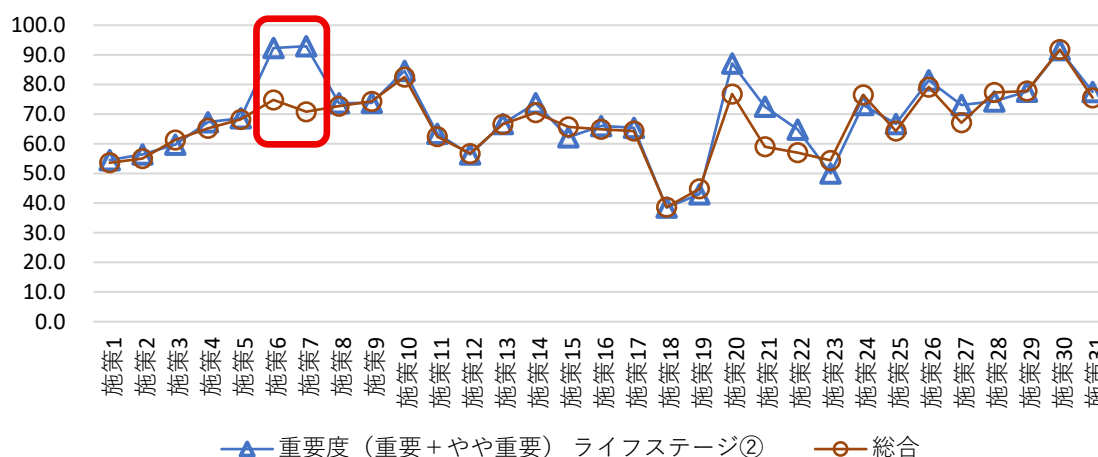
ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯

－ 子育てに関する満足度の高さが顕著 －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

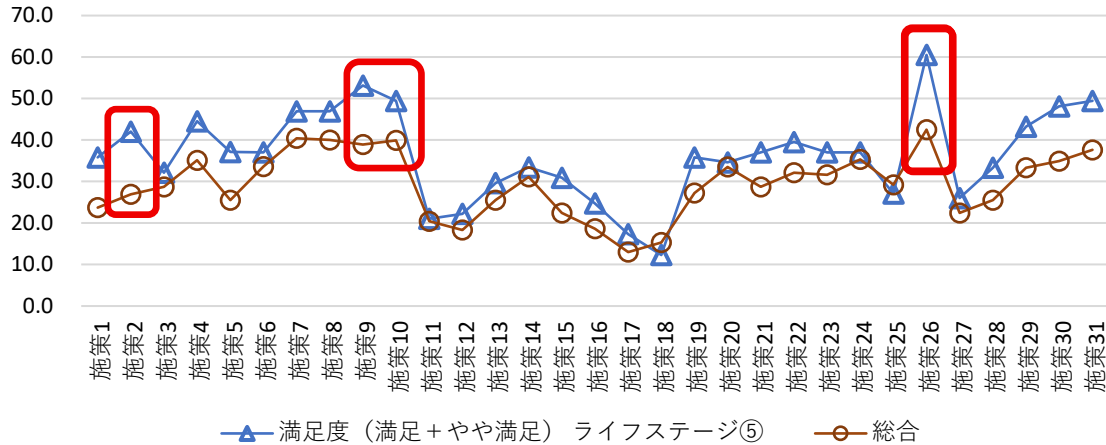
	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
	高い	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成
満足度	低い	28	公共交通の整備と利用促進
重要度	高い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
	高い	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成

- 満足度については、他のライフステージと比較して、施策NO.6,7の子育て関係の施策が高い。また、施策NO.28の公共交通の整備と利用促進については、他のライフステージと比較して低い。
- 重要度についても、他のライフステージと比較して、施策NO.6,7の子育て関係の施策が高い。

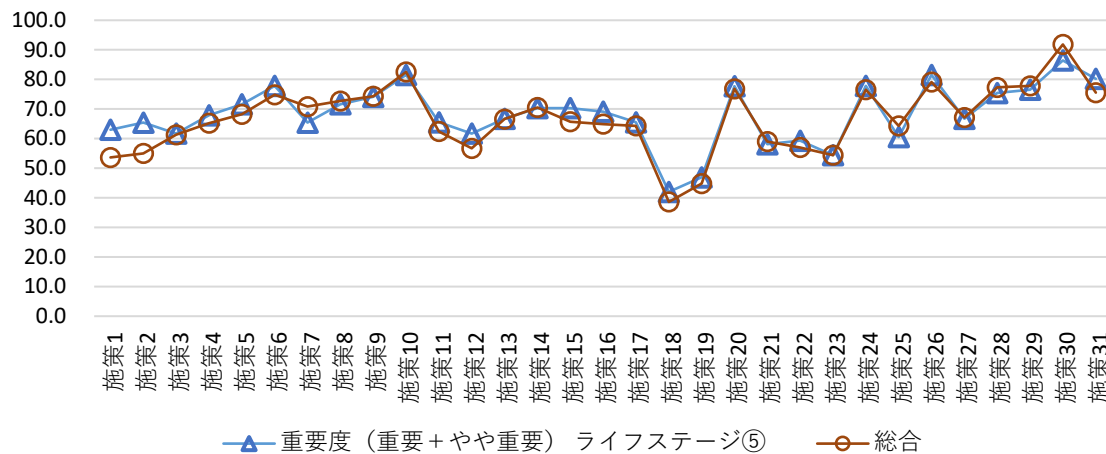
ライフステージ⑤ 60歳以上 夫婦のみ世帯

－ 他のライフステージよりも全体的に満足度が高い －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	2	誰もが活躍できるまちづくりの推進
		8	心身の健康を保つ活動の充実
		9	充実した長寿生活の実現
		10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減
		26	安心な生活環境の構築

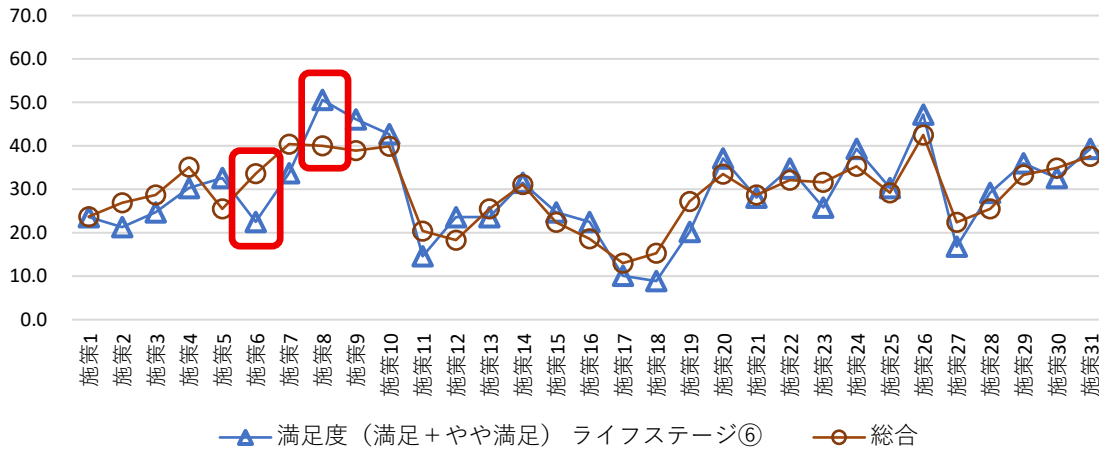
➤ 満足度については、他のライフステージと比較して全体的に高いが、特に施策NO.2の市民活動関係と、特に施策NO.8～10の医療関係、施策NO.26の安心な生活環境については高くなっている。

➤ 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

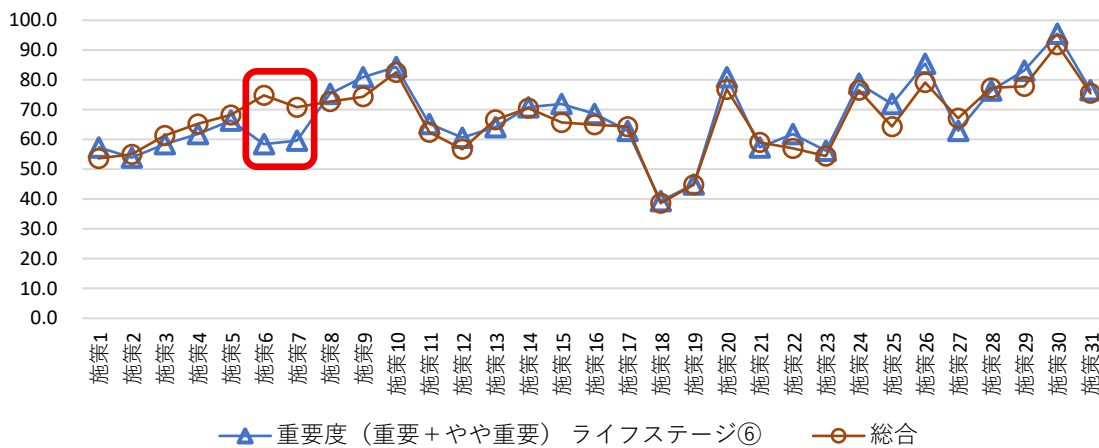
ライフステージ⑥ 60歳以上 大規模世帯

－ 子育て・福祉・健康に関する満足度、重要度の差異が顕著 －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
	高い	8	心身の健康を保つ活動の充実
重要度	低い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
	低い	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.6の子育て関係が低くなっており、NO.8の医療関係が高くなっている。
- 重要度については、他のライフステージと比較して、NO.6, 7の子育て関係が低くなっている。

(2-2) 性別・年代・地域別の満足度順位

※「満足」又は「やや満足」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		安心な生活環境の構築 42.5%	保育所等の充実 40.4%	健康を保つ活動の充実 40.0%	地域医療体制の確立 39.9%	充実した長寿生活の実現 38.9%
性別	男性	社会インフラの充実 41.6%	充実した長寿生活の実現 40.5%	安心な生活環境の構築 40.1%	地域医療体制の確立 39.5%	保育所等の充実 38.3%
	女性	安心な生活環境の構築 44.7%	健康を保つ活動の充実 42.3%	保育所等の充実 41.9%	地域医療体制の確立 40.2%	情報発信力の強化 39.2%
年代	10歳代	地域医療体制の確立 59.1%	学校教育の充実 45.5%	社会インフラの充実 45.4%	スポーツ活動の推進 45.4%	結婚、妊娠、子育て支援 40.9%
	20歳代	保育所等の充実 45.8%	地域医療体制の確立 42.4%	学校教育の充実 39.0%	結婚、妊娠、子育て支援 39.0%	にぎわいの創出 39.0%
	30歳代	保育所等の充実 40.0%	結婚、妊娠、子育て支援 38.2%	地域医療体制の確立 30.5%	情報発信力の強化 29.6%	安心な生活環境の構築 29.5%
	40歳代	保育所等の充実 54.2%	安心な生活環境の構築 44.7%	健康を保つ活動の充実 44.7%	結婚、妊娠、子育て支援 42.5%	充実した長寿生活の実現 40.4%
	50歳代	充実した長寿生活の実現 40.2%	社会インフラの充実 36.7%	安心な生活環境の構築 35.6%	道路等の整備 34.5%	文化の保護・継承・活用 33.3%
	60歳代	健康を保つ活動の充実 50.7%	安心な生活環境の構築 48.5%	充実した長寿生活の実現 43.0%	地域医療体制の確立 43.0%	社会インフラの充実 39.1%
	70歳以上	安心な生活環境の構築 62.6%	充実した長寿生活の実現 58.6%	地域医療体制の確立 51.6%	健康を保つ活動の充実 50.5%	道路等除排雪体制の充実 50.5%
地域	湯沢地域	安心な生活環境の構築 44.6%	保育所等の充実 41.0%	健康を保つ活動の充実 39.2%	地域医療体制の確立 38.4%	充実した長寿生活の実現 38.1%
	稲川地域	健康を保つ活動の充実 45.0%	社会インフラの充実 45.0%	保育所等の充実 42.0%	地域医療体制の確立 42.0%	安心な生活環境の構築 41.0%
	雄勝地域	道路等の整備 43.1%	充実した長寿生活の実現 39.2%	保育所等の充実 38.0%	安心な生活環境の構築 38.0%	結婚、妊娠、子育て支援 36.7%
	皆瀬地域	地域医療体制の確立 62.0%	社会インフラの充実 55.2%	健康を保つ活動の充実 51.7%	充実した長寿生活の実現 44.8%	道路等除排雪体制の充実 44.8%

施策NO.	施策名	該当数
10	地域医療体制の確立	11
26	安心な生活環境の構築	11
7	保育所等の充実	9
9	充実した長寿生活の実現	9
8	健康を保つ活動の充実	8
31	社会インフラの充実	6
6	結婚、妊娠、子育て支援	5
4	情報発信力の強化	2
20	学校教育の充実	2
29	道路等の整備	2
30	道路等除排雪体制の充実	2

(2-3) 性別・年代・地域別の重要度順位

※「重要」又は「やや重要」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		道路等除排雪体制の充実 91.8%	地域医療体制の確立 82.5%	安心な生活環境の構築 79.1%	道路等の整備 77.8%	公共交通の整備と利用促進 77.3%
性別	男性	道路等除排雪体制の充実 92.1%	地域医療体制の確立 84.6%	学校教育の充実 81.0%	安心な生活環境の構築 80.7%	道路等の整備 78.9%
	女性	道路等除排雪体制の充実 91.6%	地域医療体制の確立 80.9%	安心な生活環境の構築 78.1%	公共交通の整備と利用促進 77.8%	道路等の整備 77.1%
年代	10歳代	公共交通の整備と利用促進 90.9%	道路等除排雪体制の充実 90.9%	地域医療体制の確立 86.4%	結婚、妊娠、子育て支援 86.4%	稼ぐ力・売る力の向上 86.4%
	20歳代	道路等除排雪体制の充実 96.6%	地域医療体制の確立 93.2%	結婚、妊娠、子育て支援 89.9%	保育所等の充実 83.0%	防災危機対策の推進 81.3%
	30歳代	道路等除排雪体制の充実 92.1%	結婚、妊娠、子育て支援 83.5%	公共交通の整備と利用促進 80.0%	社会インフラの充実 80.0%	地域医療体制の確立 79.2%
	40歳代	道路等除排雪体制の充実 93.6%	学校教育の充実 90.4%	保育所等の充実 89.4%	安心な生活環境の構築 85.1%	充実した長寿生活の実現 84.0%
	50歳代	道路等除排雪体制の充実 89.6%	地域医療体制の確立 80.4%	公共交通の整備と利用促進 79.3%	安心な生活環境の構築 77.0%	社会インフラの充実 77.0%
	60歳代	道路等除排雪体制の充実 90.7%	地域医療体制の確立 83.6%	安心な生活環境の構築 82.0%	公共交通の整備と利用促進 81.3%	道路等の整備 80.4%
	70歳以上	道路等除排雪体制の充実 91.0%	安心な生活環境の構築 83.8%	防災危機対策の推進 81.8%	地域医療体制の確立 80.8%	充実した長寿生活の実現 77.8%
地域	湯沢地域	道路等除排雪体制の充実 92.4%	安心な生活環境の構築 82.2%	地域医療体制の確立 81.9%	学校教育の充実 78.8%	防災危機対策の推進 78.6%
	稲川地域	道路等除排雪体制の充実 92.0%	地域医療体制の確立 84.0%	公共交通の整備と利用促進 80.0%	学校教育の充実 79.0%	道路等の整備 77.0%
	雄勝地域	道路等除排雪体制の充実 88.6%	地域医療体制の確立 83.6%	道路等の整備 79.8%	公共交通の整備と利用促進 76.0%	安心な生活環境の構築 76.0%
	皆瀬地域	道路等除排雪体制の充実 93.1%	地域医療体制の確立 86.2%	道路等の整備 82.7%	公共交通の整備と利用促進 75.9%	安心な生活環境の構築 75.9%

施策NO.	施策名	該当数
30	道路等除排雪体制の充実	14
10	地域医療体制の確立	13
26	安心な生活環境の構築	10
28	公共交通の整備と利用促進	9
29	道路等の整備	7
20	学校教育の充実	4
6	結婚、妊娠、子育て支援	3
24	防災危機対策の推進	3
7	保育所等の充実	2
9	充実した長寿生活の実現	2
31	社会インフラの充実	2

3. 設問間の相関関係

■ 相関関係とは

年齢と収入のように、1つのデータの変化に伴って、もう1つのデータも変化するような関係を相関関係といい、1つのデータが増えるとき、もう1つのデータも増えるような関係を正の相関関係といいます。

■ 設問間の相関関係

本調査の施策に関する設問 1 から 3 1 のうち、「住みやすさ」、「愛着や誇り」、「住みつづけたい」に関する設問との相関関係を把握するため、相関係数（係数は - 1 から + 1 の間の値をとり、その値が 1 に近いほど正の相関関係が強いことを示す。）を算出して、その結果を次ページ以降に示しました。

また、重点的な取り組みが必要であると分析された以下 6 施策についても掲載しました。

施策NO.	施策名
5	生活困窮者と障がい者の自立支援
14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出
17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援
28	公共交通の整備と利用促進
29	まちの動脈となる道路等の整備
30	道路等除排雪体制の充実

<注意事項>

相関係数はいくつかの方法により算出することができますが、ここでは、通常用いられるピアソンの相関係数により算出しています。設問における選択肢は順位尺度となりますが、その値の差が等しい間隔尺度として仮定した上で、相関係数を算出しています。

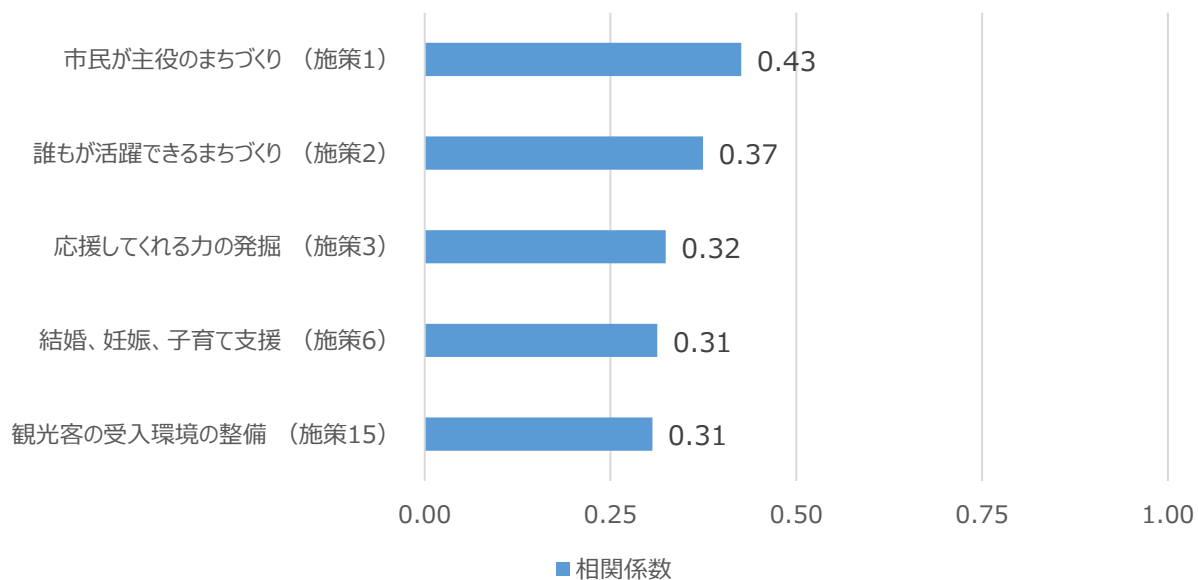
例えば、施策 5 の「生活困窮者と障がい者の自立支援」については、選択肢を、

1)満足、2)やや満足、3)やや不満、4)不満、に並び替え、その間隔が等しいと仮定し算出しています。

※どちらともいえない、無回答は除外

(3-1) 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係

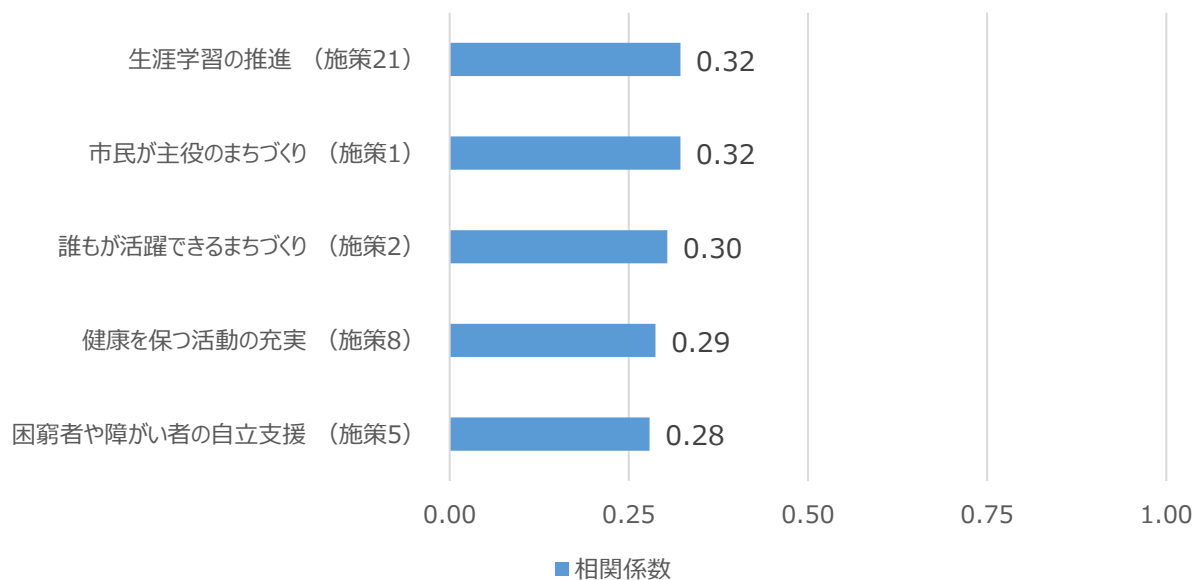
問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.43となり、次いで「誰もが活躍できるまちづくり」の0.37、「応援してくれる力の発掘」の0.32、「結婚、妊娠、子育て支援」の0.31、「観光客の受入環境の整備」の0.31となった。
- 「市民活動」に関する施策との相関関係が強い。

(3-2) 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係

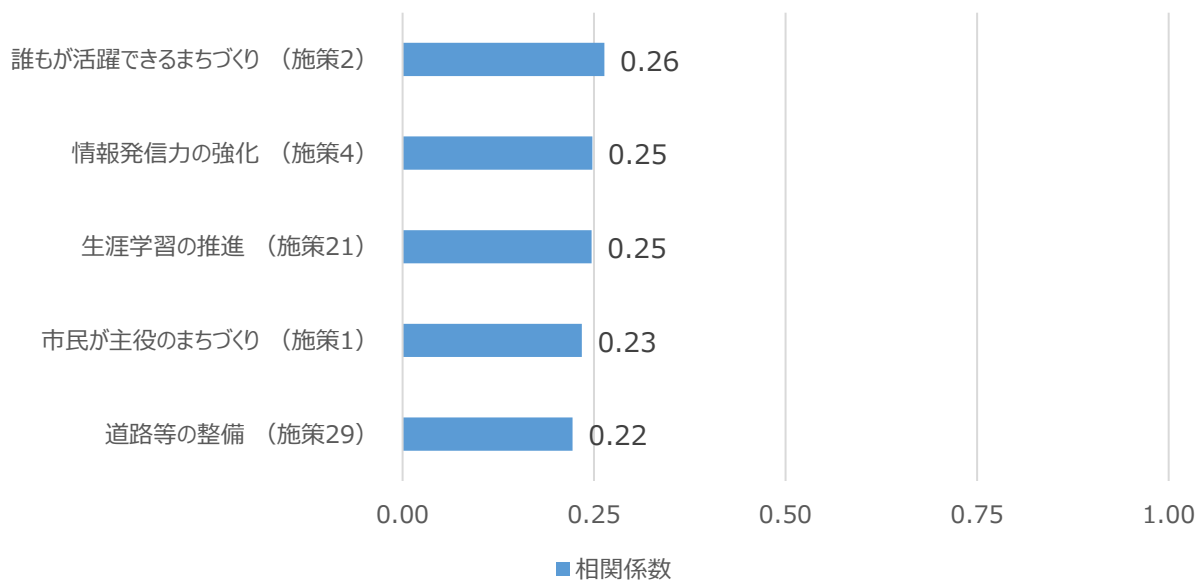
問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「生涯学習の推進」と「市民が主役のまちづくり」の0.32となり、次いで、「誰もが活躍できるまちづくり」の0.30、「健康を保つ活動の充実」の0.29、「困窮者や障がい者の自立支援」の0.28となった。
- 「市民活動」「文化・教育」に関する施策との相関関係が強い。

(3-3) 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係

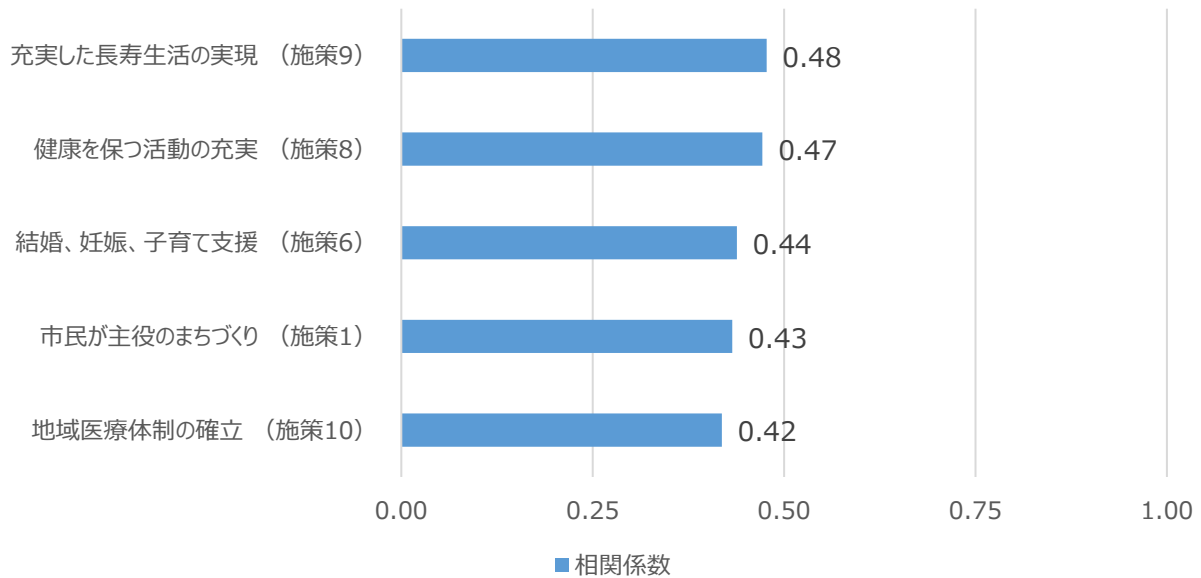
問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「誰もが活躍できるまちづくり」の0.26となり、次いで「情報発信力の強化」の0.25、「生涯学習の推進」の0.25、「市民が主役のまちづくり」の0.23、「道路等の整備」の0.22となった。
- 「市民活動・情報発信」「文化・教育」に関する施策との相関関係が強い。

(3-4) 施策5「生活困窮者と障がい者の自立支援」との相関関係

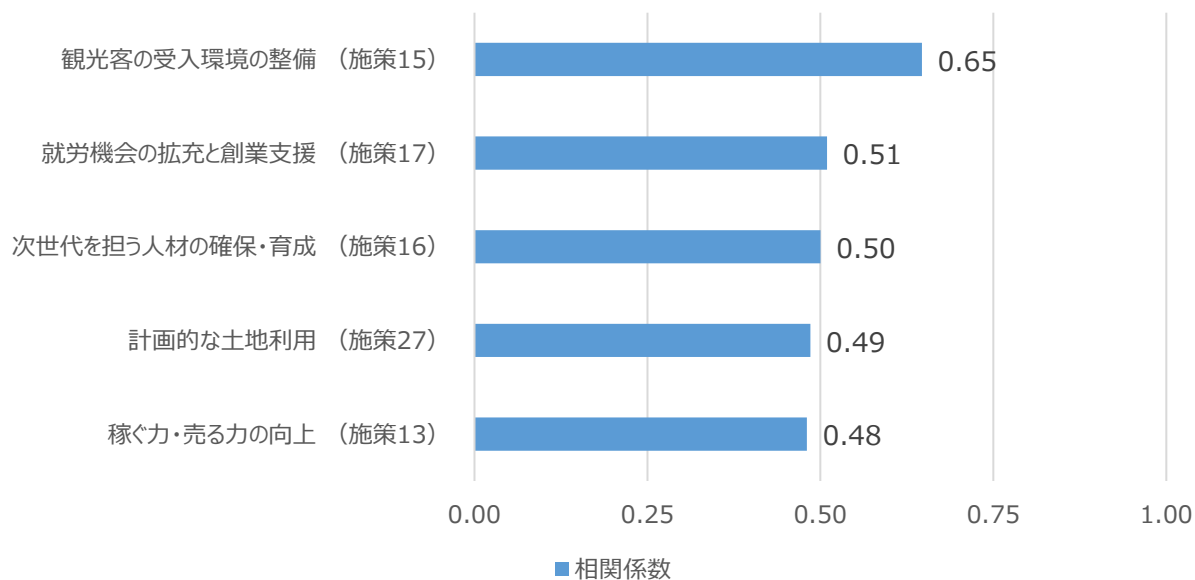
施策5「生活困窮者と障がい者の自立支援」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「充実した長寿生活の実現」の0.48となり、次いで「健康を保つ活動の充実」の0.47、「結婚、妊娠、子育て支援」の0.44、「市民が主役のまちづくり」の0.43、「地域医療体制の確立」の0.42となった。
- 「子育て、福祉、健康」に関する施策との相関関係が強い。

(3-5) 施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係

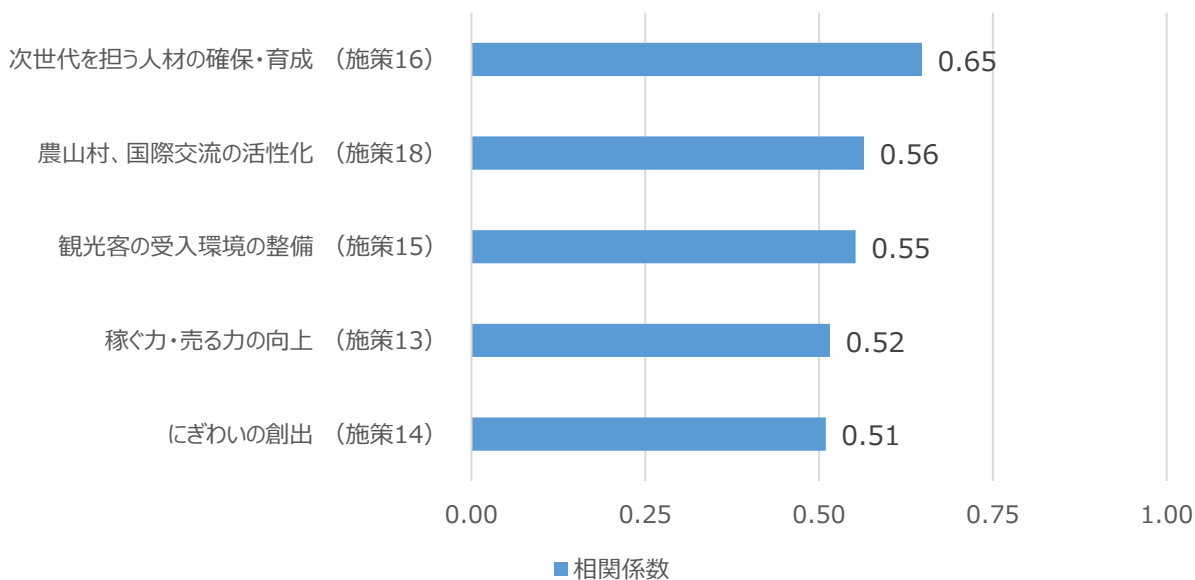
施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「観光客の受入環境の整備」の0.65となり、次いで「就労機会の拡充と創業支援」の0.51、「次世代を担う人材の確保・育成」の0.50、「計画的な土地利用」の0.49、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.48となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-6) 施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係

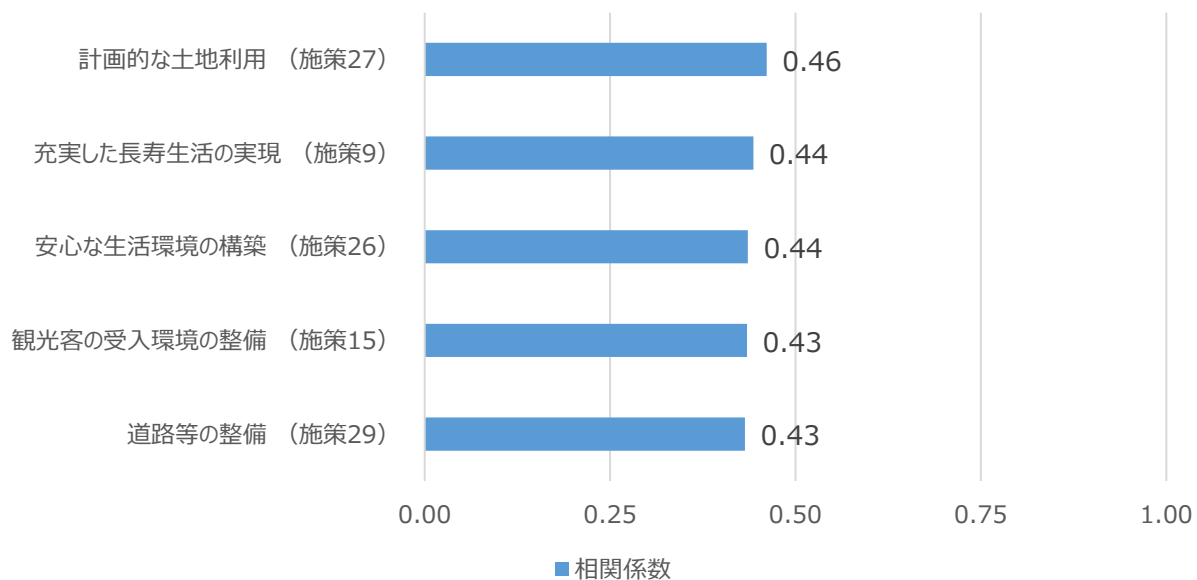
施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「次世代を担う人材の確保・育成」の0.65となり、次いで「農山村、国際交流の活性化」の0.56、「観光客の受入環境の整備」の0.55、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.52、「にぎわいの創出」の0.51となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-7) 施策28「公共交通の整備と利用促進」との相関関係

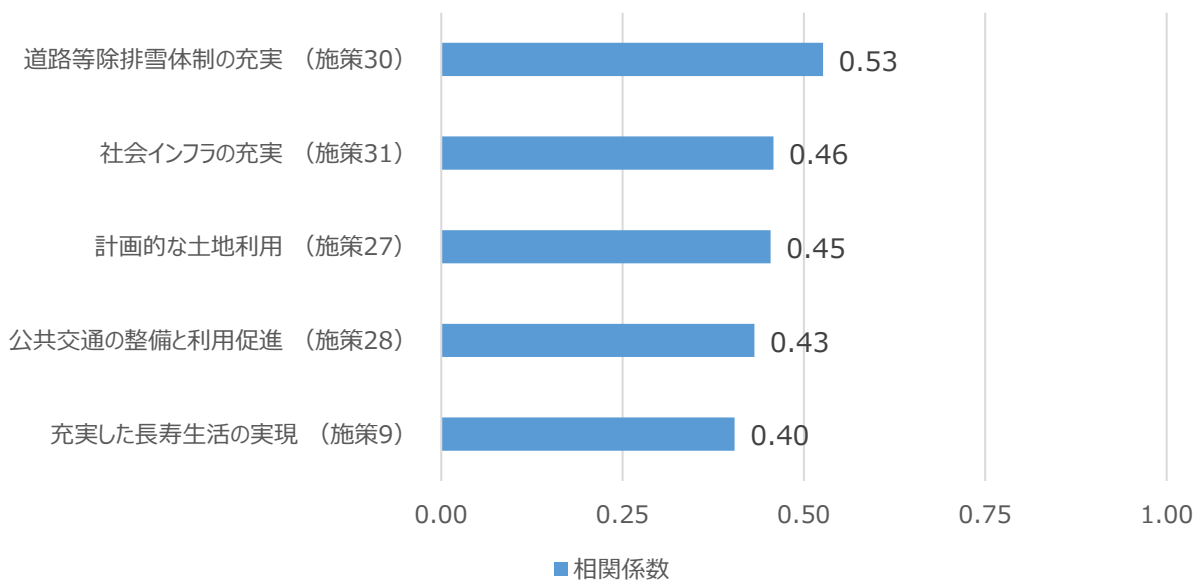
施策28「公共交通の整備と利用促進」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「計画的な土地利用」の0.46となり、次いで「充実した長寿生活の実現」の0.44、「安心な生活環境の構築」の0.44、「観光客の受入環境の整備」の0.43、「道路等の整備」の0.43となった。
- 「防災・生活」「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-8) 施策29「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係

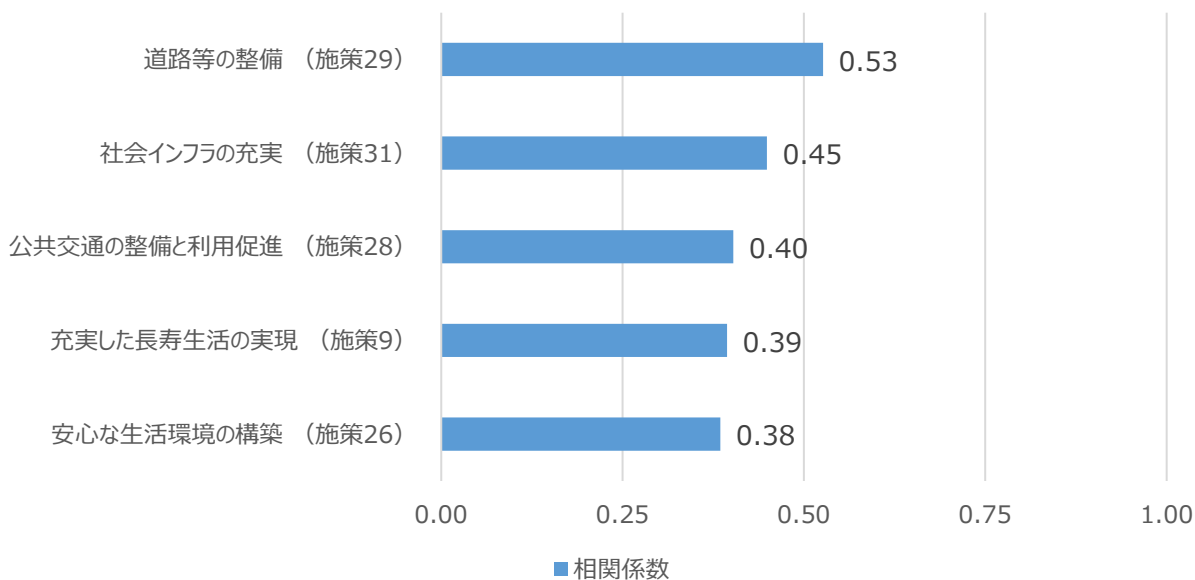
施策29「まちの動脈となる道路等の整備」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「道路等除雪排雪体制の充実」の0.53となり、次いで「社会インフラの充実」の0.46、「計画的な土地利用」の0.45、「公共交通の整備と利用促進」の0.43、「充実した長寿生活の実現」の0.40となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-9) 施策30「道路等除排雪体制の充実」との相関関係

施策30「道路等除排雪体制の充実」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「道路等の整備」の0.53となり、次いで「社会インフラの充実」の0.45、「公共交通の整備と利用促進」の0.40、「充実した長寿生活の実現」の0.39、「安心な生活環境の構築」の0.38となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

4. 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の6項目に分類し、そのうち代表的な意見を抜粋し記載しています。

<自由意見の記載内容>

分類	人数
(1) 暮らしに関わる意見	56
(2) 福祉に関わる意見	22
(3) 産業に関わる意見	9
(4) 広報・広聴に関わる意見	19
(5) 施設・場所に関わる意見	23
(6) 行政全般に関わる意見	47

(1) 暮らしに関わる意見
若者が活躍できる環境づくり、交通アクセスの改善の増強。
道路や通学路、公園、堤防、土手の管理整備を改善してほしい。
豪雪時の対応をより密に行ってほしい。
除排雪の方法など改善してほしい。
空き家や一人暮らしの人への除雪を行ってほしい。
消防団が出勤という時に行動できるか不安なので、定期的な訓練があった方がいい。
大雪による除排雪の初動体制の改善。
利用しやすい公共交通への取組みをしてほしい。
U.Iターンの定住者や結婚、出産による支援が充実すると良い。

(2) 福祉に関わる意見
子育て支援が不満。サービスなどの明確な提示をしてほしい。
医療費無料の対象を拡充してほしい。
保育料が負担になるので、下げるか補助を増やしてほしい。
医療機関が少ない。
若い世代が子供を産みたいと思える施策を求め。
子供を育てる環境がない。共働きの世帯が多いのに日曜保育してくれる保育園が少ない。

(3) 産業に関わる意見
移住者への就労支援をしてほしい。
湯沢市には魅力的な買物をする所がない。湯沢にお金を落とせるような商業施設がほしい。
商店街の活性化が進めばいい。
企業誘致を頑張ってもらいたい。働きたい人が働ける場所を増やしてほしい。若者の雇用確保。
市に人を呼び込むことも大切だが、今いる若者が力を発揮できるような場が欲しい。

(4) 広報・広聴に関わる意見
高齢者の中には、スマホやネットについて使い方が分からない人が多い。スマホ弱者、ネット弱者の存在を忘れず、アナログな形でも全市民にとって生活しやすい湯沢市であってほしい。
いつでもどんなイベント等が行われているのか伝わらない。
市の施策の主な取り組み内容が知らないことが多く、それが知られていない。
市のホームページが新しくなり、分かりづらい。トップページから目的や内容で探せるようにしてもらいたい。
県外にいる人へ個々に就職情報等を発信できないか。広報誌を見ない人、ホームページを見ない人にももっと情報が届くようにしてほしい。
広報の内容は市民が求める内容か。
広報にいろんな物が一度に入ってくるので必要な情報がわからない。
アンケート調査などネットで回答できるといい。
取り組みが全く何も伝わってこない。市民の事を考えているならもう少し頑張ってもらいたい。

(5) 施設・場所に関わる意見
子育て世代が休日に遊びに出かけられる場所を増やしてほしい。体を動かしたりできる施設が充実しているといい。そうすればもっと地元での活動が活発になると思う。
人口が少なくなり、無駄な施設が多いので検討が必要。
使わなくなった校舎や、体育館等の有効活用の方法の検討。
施設を日曜日祝日も利用できるようにしてほしい。

(6) 行政全般に関わる意見
実施したことが市民生活にどう効果的に現れたかについての検証も含め、事業等に改善を加えていくべき。どのような施策や行政サービスも振り返りが必要。
不要なサービスはしなくていい。他市町村と違って行政などのサービスが劣っているように感じる。
市議会議員の定数を減らす。女性議員枠を設け男女同数をめざす。定年を設けてほしい。
施策など行政の「やっています感」と感じられるものが多い。
財政難の割に市議報酬が秋田県内の市町村の中でトップ10入りしている所を説明してほしい。市職員のように市議報酬も伝えてほしい。
昨今の市の施策は高齢者側に立ちすぎている。若い世代にも目を向けてほしい。
市役所職員としての自覚をもっと持ってほしい。職員の態度が悪い。
将来ビジョンを示し、協力してくれる人に助成金や補助金をだしてトータルの行政コストを低減していかないと立ちいかなくなる。
いらぬ事業を洗い出し、まずは湯沢市の魅力をPRし、注目してもらうこと。
持続可能な地域となるため、必要なことはやる、出来ないことはやらない、その判断基準となる、どこを目指すかという目標を市民と理解共有できることが大切。